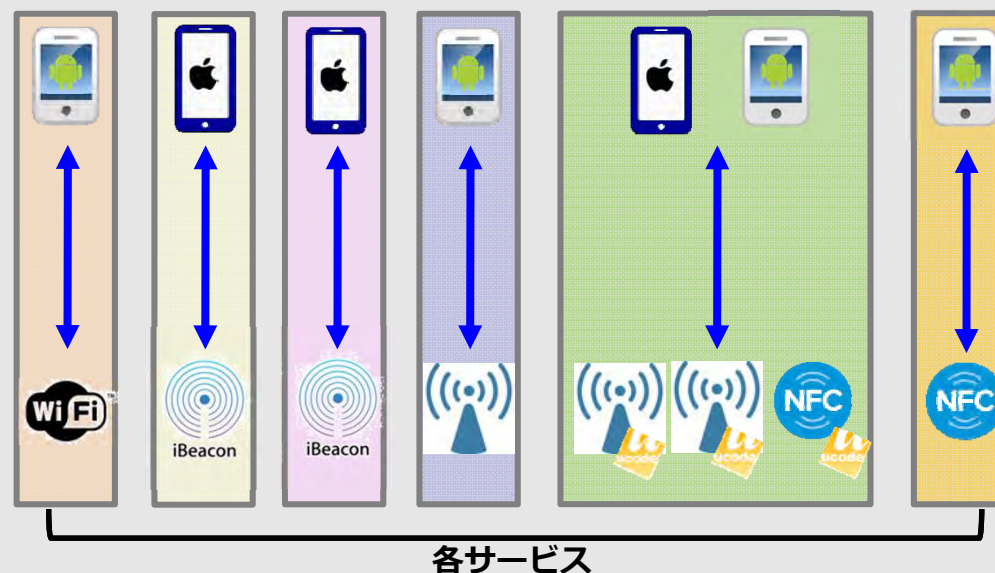


現時点における検討内容～場所情報インフラの共有化

第1回位置情報基盤WG
資料3を基に作成

現状

- 各サービス提供者が設置したタグを、他のサービス提供者がそのまま利用できないしくみが大半を占める。

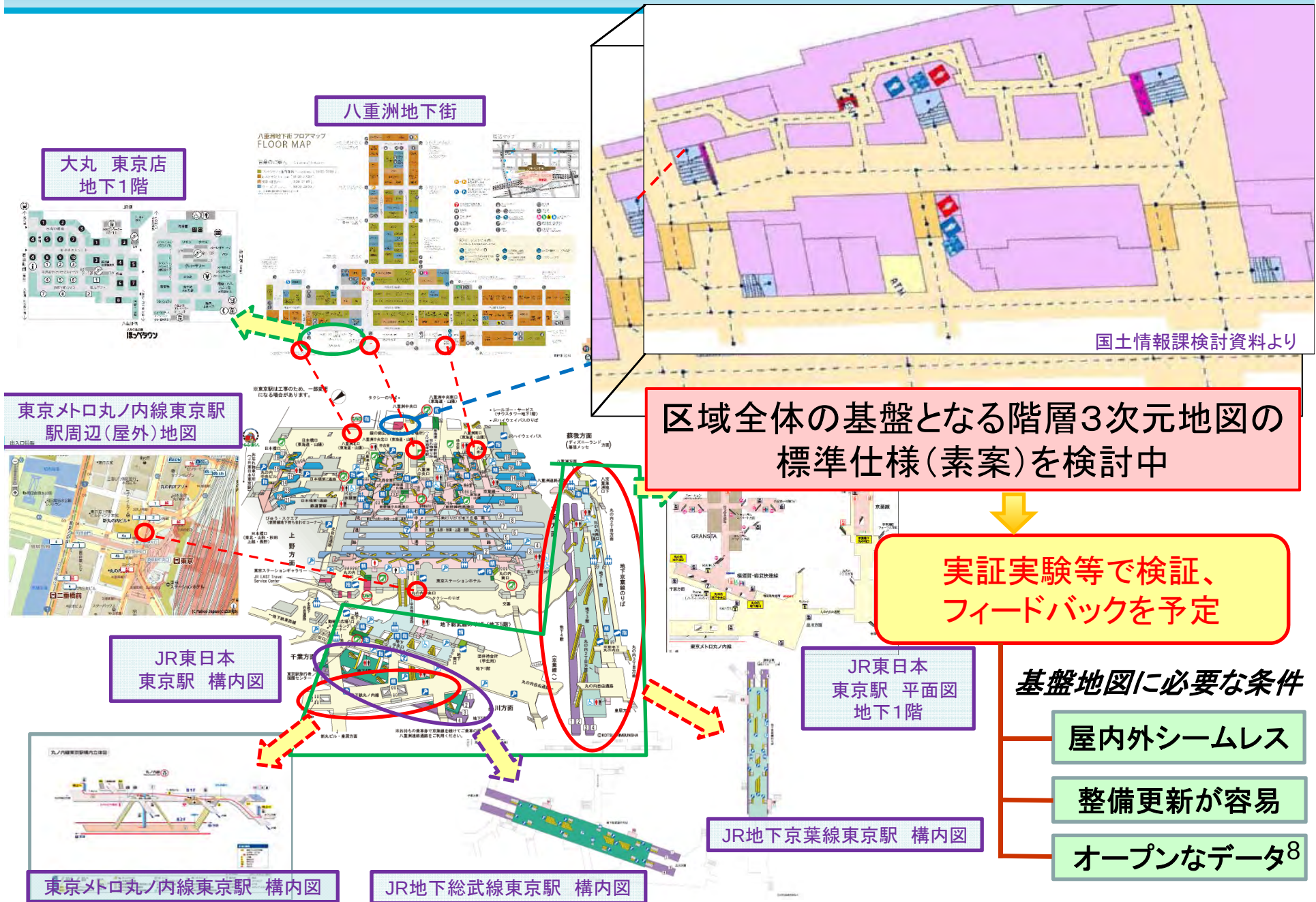


位置情報基盤を構成するパブリックタグ情報共有のための標準仕様(仮称)(案)を検討中

- 各サービス提供者が設置するタグの位置情報等を、標準仕様(案)に基づき、情報共有プラットフォームへ登録する。
- 登録した情報等を、パブリックタグが発信する固有IDをキーとして、位置情報の検索などに共通利用可能とする。



現時点における検討内容～基盤的地図の標準仕様(素案)



区域全体の基盤となる階層3次元地図の
標準仕様(素案)を検討中

実証実験等で検証、
フィードバックを予定

基盤地図に必要な条件

屋内外シームレス

整備更新が容易

オープンなデータ⁸

- ① 衛星測位の適用範囲を拡大する技術アルゴリズムを開発する。
- ② 屋内外シームレスな測位を可能とする基盤技術を開発し、技術基準とガイドラインを作成する。
- ③ 3次元空間を表す基盤的地図の仕様を定め、地図を効率的に整備・更新するためのマニュアルを作成する。